



各 位

2026年5月13日

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
代表者名 代表取締役社長 丸山 顕
(コード番号: 6324 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 塩川 哲也
TEL. 03-5471-7810

中期経営計画(2024年度~2026年度)の見直しと 新中期経営計画(2026年度~2030年度)に関するお知らせ

当社は、2026年5月13日開催の取締役会において、昨今の経営環境を踏まえ、2024年5月13日に開示しました中期経営計画(2024年度~2026年度)を見直し、2026年度を初年度とする新たな中期経営計画(2026年度~2030年度)を決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 現行中期経営計画の見直しと新中期経営計画の策定について

当社グループは、「モーションコントロール技術で社会の技術革新に貢献する」というミッションのもと、事業活動を推進しております。当社グループが手掛けるメカトロニクス製品及び減速装置は、産業用機械のみならず、先進医療機器やモビリティ分野など、「社会の技術革新」に大きく貢献しており、今後もその需要は拡大していくことが予想されます。また、世界的な人手不足を背景に、生産現場を中心に、自動化・省人化の動きが加速しており、協働ロボットに加え、新たな成長領域としてAIロボットへの期待が高まっております。しかしながら、AIロボット市場については中長期的な成長期待に変わりはないものの、現時点においては創成期にあることから、2024年5月13日に公表した中期経営計画(2024年度~2026年度)策定時に想定していた前提条件と比べ、社会実装の進展ペースについて想定との差異が生じつつある状況となっております。当社グループといたしましては、こうした環境変化を踏まえ、より実効性と柔軟性の高い成長戦略を構築すべく、現行の中期経営計画を発展的に見直し、2026年度を起点とする新たな中期経営計画を策定することといたしました。

2. 新中期経営計画(2026年度~2030年度)について

新中期経営計画においては、「AIロボット」「航空・宇宙・防衛」「eモビリティ」を重点開拓分野に位置付け、各分野における成長機会に果敢に挑戦する方針です。また、将来の成長機会を確実に取り込むため、マーケティング機能の強化、ならびに新製品創出力およびモノづくり力の一層の向上に取り組んでまいります。あわせて、成長戦略を着実に推進するための経営基盤の強化を図り、グループ一体となった経営を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

かかる方針のもと当社グループは、競争力および資本効率の向上を重視した経営を推進し、2030年度において以下の財務・非財務目標の達成を目指します。

2030年度目標		
競争力の向上	資本効率の向上	地球環境への貢献
連結売上高 1,000億円以上	連結ROIC・ROE: 10%以上 連結営業利益率: 15%以上	GHG排出量 2022年度比30%削減

3. 今後について

2026年5月21日(木)開催の証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会で新中期経営計画(2026年度～2030年度)の概要について説明いたします。説明会資料は決算説明会の当日に当社ウェブサイト (<https://www.hds.co.jp/>) に掲載いたします。

※ 本資料に記載の内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報や将来に対する様々な仮定に基づいた事項であり、上記の中期経営計画の実現を保証するものではありません。

以上